

電力需給調整市場について

- 電力ネットワーク内において、需要（電力消費量）と供給（発電量）を一致させることは極めて重要
 - 需要と供給のバランスが崩れると、大規模な停電の恐れ
- 電力会社では、これまで火力発電や揚水発電などにより、需要と供給を一致させるための「調整力」を確保
- 国では「電力会社を跨がる広域的な調整力の確保」「市場原理の導入による調整力コストの削減」を目的に、電力需給調整市場を開設（R3～）
 - 電力会社からの要請を受け、調整力の供給を行うまでの応動時間が長い「三次調整力」の取引がR3から開始
(順次、取引メニューを拡大)
- R6からは、10秒以内に応動する「一次調整力」の取引が開始

＜商品区分と導入スケジュール＞

	年度	2021	2022	2023	2024	2025
商品区分	三次② 応動時間45分以内 継続時間：3時間	▼調達開始				
	三次① 応動時間15分以内 継続時間：3時間		▼調達開始			
	二次調整力② 応動時間5分以内 継続時間：30分以上				▼調達開始	
	二次調整力① 応動時間5分以内 継続時間：30分以上				▼調達開始	
	一次調整力 応動時間10秒以内 継続時間：5分以上				▼調達開始	

経済産業省
電力・ガス基本政策小委員会(R4.6.30)
資料より